

浜松市保健環境研究所だより

第21号「家庭用品の検査について」

2021.12

私たちが日常生活で使用する家庭用品には、機能や品質向上の目的で様々な化学物質が使われています。この化学物質は、生活を快適にする一方、使用方法や体質によっては健康を害することがあります。保健環境研究所では、家庭用品の安全性を確認するため、保健所からの依頼により検査を行っています。



今回は、身近な家庭用品の検査について紹介します。

家庭用品と有害物質

家庭用品とは、私たち一般消費者が日常生活で使用する製品のことで、例えば、身に付ける衣類、寝具等の繊維製品、住宅の清掃に使う洗浄剤などが挙げられます。

家庭用品に含まれる有害物質や含有量等の基準は、「有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律」により定められています。当所では、次の表に示した有害物質について、家庭用品に含まれていないか、含有量が基準を満たしているか、検査を行い確認しています。

主な有害物質と検査対象家庭用品

有害物質	用途	検査対象家庭用品
ホルムアルデヒド	樹脂加工剤	乳幼児用繊維製品（おしめ、よだれ掛け、下着、靴下等）、大人用下着、靴下、つけまつげ用接着剤 等
有機水銀化合物	防菌防カビ剤	繊維製品（おしめ、下着、手袋、靴下 等） 
ディルドリン	防虫加工剤	繊維製品（下着、手袋、靴下、敷物、家庭用毛糸 等）
水酸化ナトリウム 水酸化カリウム	洗浄剤	家庭用洗浄剤 
テトラクロロエチレン トリクロロエチレン	溶剤	家庭用エアゾル製品、家庭用洗浄剤

ホルムアルデヒドについて

今回は、当所で検査を行っている有害物質のうち、全国的に違反事例が報告されている繊維製品のホルムアルデヒドについて紹介します。

ホルムアルデヒドとは？

繊維の加工時に、防縮・防しわ加工、形態安定加工のために使用される化学物質です。

ホルムアルデヒドが長時間皮膚に触れると、かぶれてしまうことがあります。

乳幼児用の衣類については成人用の衣類より厳しい基準が設けられています。



ホルムアルデヒドは水に溶けやすい物質です。新しい衣類は、使用前に洗濯することでホルムアルデヒドを取り除くことができます。



【ホルムアルデヒドの検査方法】



① 検査する繊維製品を細かく切ります。



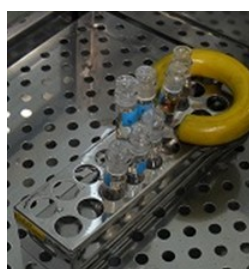
② フラスコに検体を正確に量りとり、蒸留水を入れます。



③ 温めてホルムアルデヒドを抽出します。



④ ろ過します。



⑤ ろ液に試薬を入れて反応させます。(ホルムアルデヒドがあると液が黄色くなります)



⑥ 色の濃さを分光光度計で測定し、基準を超える濃さでないか確認します。

家庭用品を取り扱うときに気をつけること

家庭用品に含まれる化学物質による健康被害の多くは、家庭用品を正しく使用することで未然に防ぐことができます。使う前に「使用上の注意」をよく読み、必ず守りましょう。また、幼児のいる家庭では、洗剤やエアゾル製品などの保管場所に注意し、幼児の手の届くところに置かないよう気をつけましょう。